

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 7年 6月 26日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県橿原市飯高町69-3

氏 名 株式会社中川組
代表取締役 中川 茂宣

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0744-25-8787

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社中川組
事業場の所在地	奈良県橿原市飯高町69-3
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 767,659千円
③ 従業員数	53人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>(解体工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生碎石として再資源化。 混合物→最終処分業者に委託し、埋立処分。 (建設工事) がれき類→再生処理業者に委託し、再生碎石として再資源化。 廃プラスチック類→再生処理業者に委託し、RPF燃料として再資源化。</p>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）
 ↓
 各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）
 ↓
 工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	排出量	5941.17 t	199.73 t	226.23 t	73.52 t
	(これまでに実施した取組)				
出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
	排出量	5500 t	195 t	220 t	70 t
(今後実施する予定の取組)					
工法の改善による産業廃棄物の減少					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
【目標】					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
実施する予定はない。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
【目標】					
産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
特に実施していない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	t	t
①現状	(これまでに実施した取組)					
①現状	特に実施していない。					
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		t	t	t	t
②計画	(今後実施する予定の取組)					
②計画	特に実施していない。					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】				
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
①現状	全処理委託量	5941.17 t	199.73 t	226.23 t	73.52 t	
①現状	優良認定処理業者への処理委託量	56.06 t	57.55 t	134.87 t	23.53 t	
①現状	再生利用業者への処理委託量	5941.17 t	199.73 t	226.23 t	73.52 t	
①現状	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	
①現状	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	
①現状	(これまでに実施した取組)					
①現状	可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減をはかる。					

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	混合廃棄物	ガラス陶磁器くず
②計画		全処理委託量	5500 t	195 t	220 t	70 t
		優良認定処理業者への処理委託量	100 t	60 t	140 t	25 t
		再生利用業者への処理委託量	5500 t	195 t	220 t	70 t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)						
※事務処理欄						

優良認定処理業者を選定する。
委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長（廃棄物処理統括責任者）
 ↓
 各部署部長（産業廃棄物管理担当部長）
 ↓
 工事現場管理責任者（産業廃棄物管理責任者）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	排出量	140.21 t	13.51 t	1.14 t	0.147 t
(これまでに実施した取組)					
②計画	出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
(今後実施する予定の取組)	排出量	130 t	11 t	1 t	0.1 t
	工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品	産業廃棄物
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
【目標】					
産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品	産業廃棄物
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
実施する予定はない。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品	産業廃棄物
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
【目標】					
産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品	産業廃棄物
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
特に実施していない。					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項					
①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
特に実施していない。					
産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
	全処理委託量	140.21 t	13.51 t	1.14 t	0.147 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	120.71 t	t	1.14 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	13.51 t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
可能な限り再生利用業者への処理委託を行い、最終処分量の低減を はかる。					

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	石綿含有建材	繊維くず	廃石綿等	水銀使用製品 産業廃棄物
②計画	全処理委託量	130 t	11 t	1 t	0.1 t	
	優良認定処理業者への 処理委託量	125 t	t	t	t	
	再生利用業者への 処理委託量	t	11 t	t	t	
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	
(今後実施する予定の取組)						
優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。						
※事務処理欄						

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

社長 (廃棄物処理統括責任者)
 ↓
 各部署部長 (産業廃棄物管理担当部長)
 ↓
 工事現場管理責任者 (産業廃棄物管理責任者)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
	排出量	13.35 t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
②計画	出来る限り、再生利用業者に処理委託を行い、最終処分量の減量化を図る。				
	【目標】				
	産業廃棄物の種類	燃え殻			
②計画	排出量	12 t	t	t	t
	(今後実施する予定の取組)				
	工法の改善による産業廃棄物の減少				

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、混合物はそれぞれに分別し、保管する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
産業廃棄物の種類	燃え殻				
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
【目標】					
産業廃棄物の種類	燃え殻				
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
実施する予定はない。					

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和6年度）実績】					
産業廃棄物の種類	燃え殻				
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(これまでに実施した取組)					
特に実施していない。					
【目標】					
産業廃棄物の種類	燃え殻				
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)					
特に実施していない。					

(第4面)

		【目標】				
		産業廃棄物の種類	燃え殻			
②計画	全処理委託量	12 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
		(今後実施する予定の取組)				
優良認定処理業者を選定する。 委託先処理業者には定期的に実施確認を実施する。						
※事務処理欄						